

玄関照明のイロハ①

アプローチのひかり、じっくり考えた事ありますか？

玄関照明。我が家の「顔」といったところででしょうか。しかし、夜は真っ暗という家が意外と多いんです。スイッチで入り切りするから点けるのを忘れてしまうのが一番多いようです。今回は、アプローチから玄関に入るまでの照明計画の考え方を少しだけお話します。

玄関が道路に面している場合、防犯も考えて人感センサー機能に加え人がいない時はほんのり点灯する便利な機能が付いた照明器具を選定すると良いでしょう。明暗センサー機能があれば、スイッチで入り切りすることはありません。一方、アプローチがある場合は少し考える必要があります。注意するポイント、外構工事を請けるかどうか。請ける場合は門柱、インターホン、表札等のデザインも考え、夜の演出を考えます。電気工事が絡みますから、成功の鍵は出来るだけ早い段階での打ち合わせ。請けない場合や後から提案する場合は失敗の多くは、建物が仕上がってから外構に回す予算を聞き出し、その範囲の中で納めようとする

建物に予め設置した外部コンセントがあるから大丈夫では、お施主様の満足度は期待できません。

暮らしに



を



灯りコラム

Vol.10



悪くはないけどちょっと盛りすぎ



照明計画のご相談をお待ちしております。

照明計画を切り口に暮らしの照明技術？
照明計画を引上げてみる照明の効果
幅を引くには、照明の効果
リニアには、照明の効果
必要な暮らさなくては照明の効果
演出が必須アイテム。照明の効果
この場所のインテリジェント照明の効果
パリスが効かせようか。
照明計画のご相談をお待ちしております。

info@design-akari.com

Tel : 04-7196-7142



照明計画のご相談は

株式会社灯り計画まで

建材を照らす。建材に照明を仕込む。植栽照明を活かす。足下灯を設置する。庭園灯を計画する。色んな照明手法を空間デザインに合せて計画します。

「素敵なお家ね」と思ってもらおう。住む側も、通りすがりの人にも。そこには照明の効果と役割が存在します。